

あがないの供え物

レビ記四章

もし油を注がれた祭司が違反して、民にもその罪責を及ぼすことになるなら、犯した過失のために、欠陥のない若い雄牛を清めのいけにえとして主に献げなければならぬ。(3)

罪を犯したときの供え物、清めのいけにえに関する規定が記されています。大祭司から始まり、全ての人がこのいけにえを献げるべきことが語られています。裏を返せば、どんな人にも罪の赦しが提供されているということです。神は全ての民の罪を赦そうと願って、このいけにえを命じておられるのです。このとき、たった一つの罪でも、神の赦しを必要とされています。もしこの旧約の規定が私たちに適用されたならば、私たちはどうなってしまうでしょう。けれどもここに、贖いの供え物とされたキリストが立たれます。主イエスの贖いの血は一つの罪ではなく、全ての罪から私たちを清めてくださいます。「御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます」(第一ヨハネ一七)。今日も、あらゆる罪を赦してくださる贖いの小羊なるイエスを仰ごうではありませんか。